

プロジェクト情報

- 国名：キルギス
- 事業名：一村一品アプローチによる小規模ビジネス振興を通じたイシククリ州コミュニティ活性化プロジェクト
- 協力期間：2012年から2015年
- 相手国機関名：経済省、イシククリ州政府

1. プロジェクトの背景

キルギス共和国はソビエト連邦の計画経済下で農業・畜産業を担ってきましたが、1991年末のソ連崩壊後、民主化・市場経済化への改革路線がとられ、中央アジアで最も市場経済化が進んだ国といわれてきました。一方、急速な自由化は既存産業を疲弊させ、さらに社会主義、計画経済の崩壊にともない、共同作業に対する否定的な見方が広まりました。経済体制変革の中で地域の社会経済活動の基本単位である村の「コミュニティ」の機能は低下したまま放置されていました。生産や流通を共同で効率的に行うための人々の結び付きが少なくなり、地域の経済活動はなかなか進展せず、地方の産業は停滞し、貧困問題が深刻化するようになりました。

そこで、キルギス政府は、地域の社会経済の発展に向けたコミュニティ組織の再構築を目指し、2005年にコミュニティ組織法を成立させました。そして、海外からの支援を受けながらコミュニティ強化を通じて地域開発を進めようと様々な取り組みをしています。

2. プロジェクトの取り組み

地域の経済活動の活性化とコミュニティ組織の活性化に向け、イシククリ州では日本の一村一品運動の経験を活かした取り組みが実施されています。コミュニティ組織による小規模なビジネス活動を継続的に支援するモデルを確立することが目的です。

一村一品活動を行うグループをとりまとめる一村一品組合は、長期的には開発・デザインした商品の販売から収益を得て、行政とともに一村一品運動を推進する母体となり、ビジネス振興のモデルを確立・持続させることを目指しています。設立当初、46グループ190人だった組合員は、2013年には117グループ1000人を超えるまでになり、一村一品組合によって、地元の農産物を商品化し、生産から加工、販売までのシステムが構築されるようになりました。生産拠点の整備や原材料の一括調達

などを効率的な生産体制を整え、また同じく共同で商品販売や展示会への出展を行うための販売やマーケティングの合理的な体制を整備しつつあります。国内外で積極的にマーケティングを行った結果、国内の販売先が増え、企業との連携による輸出も始まりました。2013年の一村一品活動の年間売上は6万2000ドル、収益は前年度比1.6倍になりました。

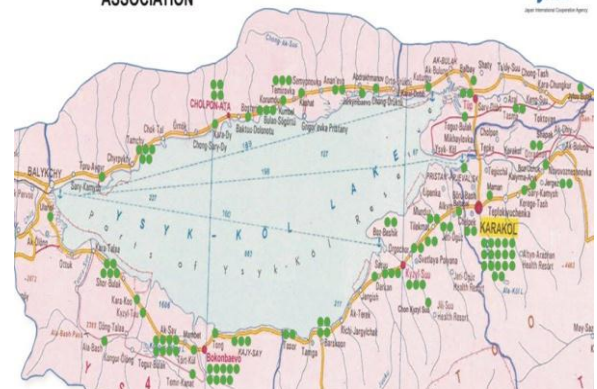


一村一品組合の活動の様子（年次総会）

イシククリ州の産品

地域の素材を生かした加工食品には、夏から秋にかけてはジャム、ジュース、乾燥フルーツなど果実を使ったものが中心です。冬に販売する商品には蜂蜜、ジャーキー、観光名所であるジェティオグス奇岩をモチーフにしたクッキーなどが開発されています。草木染フェルト商品など多くの手工芸品も生産、販売されるようになりました。商品の品質向上にも努めており、州政府を中心にイシククリブランドの認定も行っています。このようにプロジェクトでは付加価値をつけてキルギスの一般的な商品との違いを鮮明にしています。

ONE VILLAGE ONE PRODUCT
ASSOCIATION



イシククリ湖の周りに点在する一村一品活動に参加するコミュニティ組織



地元の草木で染められた羊毛

3. ジェンダー視点での効果

キルギスの地方では、放牧形式による牧畜業に従事する人が大半を占めています。男性は放牧のため家を留守にし、女性は農作物の種まきや果樹などの収穫作業に従事するとともに、家庭内で家事、育児等に従事しています。そのため、女性たちが収入を得る機会はなく、また家庭や地域での女性の発言権は一般的に弱いのが現状です。

プロジェクトでは、「誰でも参加できる」をスローガンに掲げ、女性や障がい者も含め、やる気のある人は誰でも生産活動に参加できるようにした結果、参加した人の7割が女性でした。男性が伝統的な放牧業に引き続き従事しているのに対し、女性は従来家庭で過ごしていた時間、また家庭内で行っていた手作業の技術を利用して、活動の機会を得たことがその背景にあると考えられます。ただし最近では、一村一品活動が活発になるにつれて、男性の参加も増えつつあります。



フェルト製品を生産する女性

以前、個人的な生産活動やビジネスによる収益を得た経験が殆どなかった女性たちは、一村一品活動に参加することにより、現金収入を得て、それを家計の足しにできるようになりました。定期的に現金収入を得るようになると、当初は賛成していなかった家族も家事の手伝いをするようになり、女性の家庭内の存在感が高まりました。「堂々と村を出て仕入れや会議に行けるようになった」、「他の村やグループの人たちと初めて話すようになって人間関係が広がった」、「ビシュケクで飛び入り営業を始めて経験し、度胸がついたし、商品を高く評価されて感動した」など、自らの活動に誇りを持つようになり、女性の活動範囲やネットワークが広がる等の効果が確認されています。

このように、女性たちの活動により、地元の身近な資源を有効に使った商品は、国内だけではなく日本等海外でも販売されるようになりました。これらの活動が、ビジネススキルの習得など経済的な効果にとどまらず、女性の自信の向上、発言権の向上、コミュニティのネットワーク強化や地域の伝統の復活など、様々な効果につながっています。



手作りジャム